

Please Consider Making a Donation



## 皆さまのご寄付で森をつくっています

1,000円で1本のポット苗を植えることができます。

一口1,000円からのご支援をよろしくお願い申し上げます。

¥1000



### 口座振込みで寄付する

寄付金受領書発行のため、銀行振込にてご寄付の方は、メールかお電話で住所、お名前、電話番号をお知らせください。

口座名:公益財団法人鎮守の森のプロジェクト  
三井住友銀行:本店営業部【普通】2502292  
三菱UFJ銀行:新丸の内支店【普通】3150627  
みずほ銀行:八重洲口支店【普通】2440176  
郵便局:00120-4-548300  
\*青色の払込票をご使用ください。



### 相続財産からのご寄付

相続または遺贈により現金・預貯金を取得された方が、相続税の申告期限内（相続開始日の翌日から10ヶ月以内）に、その現金・預貯金を「公益財団法人鎮守の森のプロジェクト」へご寄付いただくと、ご寄付いただいた財産は相続税の課税対象となりません。



### オンラインで寄付する

鎮守の森のプロジェクト公式ホームページからお申込みください。

[www.morinoproject.com/donation](http://www.morinoproject.com/donation)

ご利用可能なクレジットカード



### 香典からの寄付

お香典のお返しに代え、社会貢献のための寄付をしたいとお考えの場合は、いのちを守る森づくりに活用することができます。お香典返しに代えた寄付のお礼状は、当財団にてご用意しております。



公益財団法人 鎮守の森のプロジェクト  
東京都港区虎ノ門3-7-2 2階  
MAIL: info@morinoproject.com  
TEL: 03-6432-0085 (平日10時~17時)



HP



Instagram

公益財団法人 鎮守の森のプロジェクト 2025年次報告書 / 令和7年12月発行

# 2025

鎮守の森のプロジェクト

## 年次報告書

[令和6年12月 - 令和7年11月]



© Angelina Lee / Punk Pebble Productions

Courtesy of  
THE MORINO PROJECT  
Public Interest Incorporated Foundation



鎮守の森の  
プロジェクト

Public Interest Incorporated Foundation  
MORINO PROJECT  
Annual Report  
December 2024 - November 2025

@morinoproject





## これまでの活動とこれからの取り組み

来年3月11日で東日本大震災発生から15年になります。財団は震災発生から1年後の2012年7月に「瓦礫を活かす森の長城プロジェクト」として発足いたしました。被災地の復興を願い「森の防潮堤」を造ってまいりました。岩沼市の「千年希望の丘」の造成が終了する頃、復興の目途も立ち、震災瓦礫も無くなったため現在の「鎮守の森のプロジェクト」に名称を変更し、全国に「自然災害からいのちを守る森」づくりを展開するようになりました。累計植栽本数は650,494本。参加ボランティアは延べ68,774人におよび、この間、企業・団体・個人の皆様からのご寄付は13億8千万円にもなりました。皆様のご支援ご協力を改めて心より感謝申し上げます。

さて、今年ブラジルのベレンでCOP30が開催されました。『気候変動などは詐欺だ』と主張するリーダーもおりますが、自然災害が多発し干ばつによる食料危機のリスクは世界的な問題です。我が国でも農産物や水産物の変化が表れ始めています。また、南海トラフ・東南海地震や首都直下型地震の危険度が上がりつつあります。このような状況の中で防災・減災に対する取り組みは喫緊の課題と言えるのではないのでしょうか。その意味で財団が取り組んできた「自然災害からいのちを守る森」づくりは益々重要な取り組みであると自負しております。

私たちの活動は新たなステージに入り、これからは公益法人としての活動を重点において展開する所存であります。新たな事業として愛媛県今治市の山林火災跡の復興事業に参画します。此处での知見が得られれば大船渡の山林火災跡の復興も視野に入ります。もう一つは千葉県との協定事業で、九十九里浜の匝瑳市海岸に法人の森「鎮守の森の防潮堤」を造ります。首都圏の企業・団体の皆様に森づくりの場所を提供し、皆さまと一緒に環境問題の原点に立ち返り「自然災害からいのちを守る森」づくりの意義を再認識したいと考えています。「今だけ・金だけ・自分だけ」では未来はありません。豊かな未来をつくる森づくりを一緒にやろうではありませんか。皆様のご支援ご協力を切にお願い申し上げます。

公益財団法人 鎮守の森のプロジェクト

理事長 細川 護 照

千葉県で、津波によって14名の命が奪われたことをご存じですか？

## 千葉県旭市「津波からいのちを守る森」づくりが始まりました。

千葉県の外房に位置する旭市飯岡海岸にて、植樹祭を開催しました。当日は、市内外から535名が参加し、トベラやシャリンバイなど沿岸の環境に適した常緑広葉樹を中心に、約3,000本の苗木を植えました。旭市は、2011年の東日本大震災で県内最大の人的被害を受けた地域です。湾曲した地形に津波が反射し、後続の波と重なって最大7.6mまで膨れ上がり、災害関連死を含む14名が命を落とし、2名が行方不明となりました。未来の災害から地域を守る「海岸減災林」を育てるため、旭市では10年にわたり海岸部での調査・検証を進める準備をしてきました。

当財団はその成果をもとに、市と協働して津波からいのちを守る「森の防潮堤」づくりを進めます。今年の植樹祭には多くの学生ボランティア、企業、地域の皆さまが参加し、震災の教訓を次世代につなぐ力強い象徴ともなりました。自然の力で地域を守るこの森づくりが、災害に備える新たな姿として育っていくことが期待されています。

### <予告> 千葉県匝瑳市でも「森の防潮堤」づくりを始めます！

匝瑳市は旭市の隣に位置し、同じ九十九里沿岸の地域として、県が目指す「災害に強い海岸防災林」の整備地域に含まれています。当財団が進める森づくりも、こうした千葉県の理念に基づき、東日本大震災の教訓を踏まえ、津波の力を和らげる樹林帯を、地域に適した在来樹種で長期的に育てていく取り組みです。



2025年 植樹本数24,200本、参加者数2,767名

防災 × 森づくり × 環境教育



植樹祭  
育樹祭  
(草抜き)



種子  
採種



鎮守の  
森の教室

- 2025年3月20日[植樹祭]5,029本 参加817名/和歌山県広川町・稲むらの火といのちを守る植樹祭
- 2025年4月27日[植樹祭]3,000本 参加535名/千葉県旭市・海岸減災林植樹祭
- 2025年6月 8日[植樹祭]15,000本 参加1200名/福島県南相馬市・鎮魂復興市民植樹祭
- 2025年7月 7日[育樹祭]参加20名/大分県日出町
- 2025年7月12日[植樹祭]200本 参加10名/福島県南相馬市・第4回宮脇記念植樹祭
- 2025年7月12日[育樹祭]参加10名/福島県南相馬市
- 2025年9月20日[育樹祭]参加3名/岩手県山田町
- 2025年11月11,12,15日[植樹祭]684本 参加360名/東京都有明親水海浜公園・植樹まつり
- 2025年10月 4日[種子採種]参加57名/愛知県名古屋市(熱田神宮内)
- 2025年10月26日[種子採種]参加47名/宮城県内各所(青葉神社、千年希望の丘など)

2024年12月1日/千葉県君津市ほじょう園場  
植樹地域の土壌や気候に適した在来種の苗木を使用することで、自然災害から人々の暮らしを守るだけでなく、地域固有の生態系にふさわしい森林の再生にも寄与します。ただし、市場に流通する苗木は種の由来が分からないため、私たちは地域の母樹から種を採種し、自ら苗木を育てています。

### 「森の防潮堤」がつないだ、津波防災と生態系回復の両立

当財団は、東日本大震災で甚大な被害を受けた南相馬市や岩沼市の沿岸部で、「森の防潮堤」を育てる取り組みを進めてきました。津波によって海水が内陸深くまで押し寄せ、街や農地などの生態系が深く傷ついた地域に、潜在自然植生に基づく在来樹種を植え、「森の防潮堤」づくりを進めてきた10年の歩みがあります。

「森の防潮堤」は、津波から地域を守る防災の森としての役割に加え、生き物が移動しやすい「グリーンコリドー(緑の回廊)」としても機能しています。これにより、震災後の沿岸部に生態系のつながりが回復し、生き物が地域へ戻ってくる動きも確認されました。これからも私たちは、気候変動の時代に求められる新しい沿岸防災のかたちとして、津波への防災と生物多様性回復を両立する森づくりの知恵を、広く社会へ届けていきたいと思ひます。



写真:岩沼市  
大津波後の仙台空港周辺の様子。かつてここには街並みがありました。

岩沼市と南相馬市を中心に、約20キロメートルの「森の防潮堤」をつくりました。

#### 森の成長と確認された生き物



約1-2年後



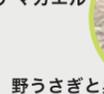
ひばりの巣

林冠が閉じるとひばりの巣は確認されなくなりました。

約2-4年後



トカゲやアマガエル



野うさぎと巣

約10年後



キジバトと巣

写真では、実際にキジバトが卵を温めている様子です。

### 和歌山県広川町「稲むらの火といのちを守る植樹祭」

地元の小中学生や保護者を中心に合計817名で5,029本の苗木を植えました。広川町長は「約130メートルに広がるこの森を、濱口梧陵公の600メートルの堤防と一緒に町のシンボルとして守っていきたい。苗木と一緒に「防災の心」も育ててほしい」と開会式にて挨拶されました。潜在自然植生に基づくこの森は、天然更新によって100年、1000年と続き、津波からいのちを守る力となっていきます。



### 有明親水海浜公園にて「植樹まつり」を開催

東京都に協力し、有明親水海浜公園にて災害に強い森づくりを行いました。同公園は、臨海副都心における地域防災の重要拠点として整備され、東京都、区、警察・消防と協力しながら、安全で災害に強いまちづくりに貢献しています。「植樹まつり」には、有明小学校をはじめ地域の小学生や保育園児が参加し、湾岸の環境に適した潜在自然植生に基づく樹種、タブノキやスダジイなど9種類、684本の苗木を植えました。都市の整えられた緑に囲まれて暮らす子どもたちにとって、この土地本来の植生や自然の成り立ちに触れる、貴重な学びの時間となりました。会場は終始、参加者の笑顔であふれ、「この木の名前、覚えたい!」、「近くに住んでいます。子どもと一緒に成長を見に来たいです」など、温かい声が寄せられました。自分たちの手で土に触れ、苗木を植え、防災公園に親しみながら地域の自然植生を学ぶことができました。

#### 【東京都】100年先を見据えた、みどりと生きるまちづくり

当財団は、東京都の緑を「まもる」「育てる」「活かす」ための東京グリーンビズの理念に賛同し、コラボレーションパートナーとして参画しました。東京都民や企業の皆さまと共に、都市の緑を未来へつなぐ活動を支援してまいります。

小池都知事と大久保江東区長と当財団細川理事長が植樹の様子を視察しました。当財団は、地域樹種の選定と苗木の提供に協力させていただきました。(写真①)



※都の公園計画に基づくため、宮脇方式による植え方ではありません。

写真①

都立有明親水海浜公園  
植樹記念

# こんな応援をしていただきました

鎮守の森のプロジェクトでは、企業の特徴や強みを生かしたさまざまな形でご支援をいただいています。環境配慮の取り組みやサービスを通じた寄付、社員参加型のボランティアなど、それぞれの企業ならではの応援が、森づくりの力になっています。

※順不同・敬称略

## 三井住友海上あいおい生命保険株式会社

当社は「ご契約内容のお知らせ」を紙からWEB受取へ切り替えた件数に応じて、当プロジェクトへ寄付を行う取り組みを実施されています。

ペーパーレス化を進めることで、紙資源の使用削減に加え、印刷や輸送にかかるエネルギーも抑えながら、同時に森づくりの活動を支援する、未来へとつながる取り組みです。日々のちょっとした選択が環境保全に結びつくこの仕組みを通して、自然への関心に触れる機会も広がっています。



キャンペーン告知 (同社WEBサイトより)

## 社員・団体メンバーの力で進める森づくり



大河原産業高校川崎校  
川崎第二小学校

「お世話になった東北へ恩返しを。」その思いから始まった復興支援植樹は、今年で10年目。生徒たちは、津波防災の学びとともに、復興には長い時間と多くの人の力が必要だと実感しています。

ソフィア会の「for others, with others」の精神を柱に、東北津波被災地での植樹を続けて11年。学生と会員がともに「森の防潮堤」づくりに参加し、津波への備えと復興支援の大切さを学び続けています。



上智大学  
ソフィア会



伊藤忠テクノソリューションズ  
株式会社

自ら植えた苗木が未来の森へと育っていく実感を共有しながら、継続して取り組んでいただいています。ここでは、単独で植樹活動を実施されている企業・団体の皆さまをご紹介します。



サムソナイト・ジャパン株式会社  
トゥミジャパン合同会社



# 多大など支援をいただいている企業・団体・個人の方々

 AIG 損保 AIG損害保険株式会社	 パーカー・ハネフィン財団	 「生きる」を創る。 Aflac アフラック生命保険株式会社
 AGC株式会社	 kanpane カンパネ株式会社	 Challenging Tomorrow's Changes 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
 JITBOX チャーター便 ボックスチャーター株式会社	 MS&AD 三井住友海上あいおい生命 三井住友海上あいおい生命保険株式会社	 Samsonite TUMI サムソナイト・ジャパン株式会社 / トゥミジャパン合同会社

※順不同・敬称略

こだまクリニック 児玉 未 / 有限会社フィセル / 渡辺正見 / 公益財団法人夢&環境支援宮崎記念基金 / 株式会社LOSA / 中島千代子 / 株式会社仙台銘板 / 安藤商事株式会社 / 高山美紀 / 高山知子 / ゲーリケ直美 / 三和グループ社会貢献倶楽部 / 加藤悦子 / 株式会社マイクロ・テクニカ / 一家 恵理 / 株式会社エムアイカード / 能美防災株式会社 / 東京ロータリークラブ / ナカモリリツコ / 島村楽器株式会社 / 仁科 潔 / 佐久間木材株式会社 / クリスタ長堀会 / 宗教法人日蓮宗修昌山 法性寺 / 宮崎朱美 / 重田糾夫 / 小沼芳子 / 小林三雄 / 中川美智子 / 株式会社トライメート / 株式会社エムケイカンパニー

※順不同・敬称略

2024年7月1日~2025年6月30日

## 決算概要

[収入の部]			[支出の部]		
科目	金額	備考	科目	金額	備考
寄付金収入	36,847	1,675件	事業費	75,946	
助成金収入	2,445	パーカー・ハネフィン財団 (公財)夢&環境支援宮崎記念基金	1.森の防潮堤創造事業費	73,875	植樹祭、育樹祭他
雑収入	235	利息等	2.ポット育苗事業費	1,864	どんぐり採種・育苗講習会他
前年度繰越金	259,660	令和5年度より	3.情報提供事業費	207	広報・宣伝費
収入合計(A)	299,187		管理費	2,172	事務経費他
			支出合計(B)	78,118	
			次年度繰越金(A-B)	221,069	